

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

| |
|-----------------|
| 共通仕様書(下水道施設機械編) |
| 第 6 章 沈砂池設備工事 |
| 第4節 揚砂機設備 |

| | |
|-------|----------|
| 点検実施日 | 平成 年 月 日 |
| 点検者名 | 印 |
| 施工場所 | |

機 器 名 称 : グラブ式揚砂機

1. 駆動装置

- 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- 減速機油面計は見やすい位置にあるか。
- 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- 減速機の給油量は適量か。
- 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- 集中給油装置のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
- 給油ポンプには行き先を表示したか。
- グリースガンの場合グリースニップルは作業しやすい所に配置したか。
- バケツは円滑に開閉するか。
- グラブバケツが最低位置のときに、ワイヤーロープが2巻以上ドラムに残っているか。
- ワイヤにキンクはないか。末端処理はなされているか。
- 走行レールにストツパはあるか。
- ボルトの突き出し長さは適切か。(2~3山程度)(切断面の処置はしたか)

3. 塗装

- 水上部は指定色が塗布されているか。
- 機器名称は見やすい位置に書いたか。

4. その他

- 施工管理記録は作成したか。
- 官公庁への届出書類はあるか。(必要時)
- 点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされているか。
- 清掃は完了したか。

施工チェックシート

| |
|-----------------|
| 共通仕様書(下水道施設機械編) |
| 第 6 章 沈砂池設備工事 |
| 第4節 揚砂機設備 |

| | |
|-------|----------|
| 点検実施日 | 平成 年 月 日 |
| 点検者名 | 印 |
| 施工場所 | |

機 器 名 称 : バケツコンベヤ式揚砂機

1. 駆動装置

- 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- 減速機油面計は見やすい位置にあるか。
- 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- 減速機の給油量は適量か。
- 回転方向は確認したか。
- 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- 駆動チェーン及びかき揚げ用チェーンの緊張度を正しく調整したか。
- チェーンにグリースを塗布したか。
- 集中給油装置のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
- 給油ポンプには行き先を表示したか。
- 点検扉を全開にし、周辺物への干渉はないか。
- Vバケットと底盤が干渉していないか。(逆転時含む)
- アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ボルトの突き出し長さは適切か。(2~3山程度)(切断面の処置はしたか)

3. 塗装

- 水上部は指定色が塗布されているか。
- 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- 施工管理記録は作成したか。
- カバー内スラブは、沈砂付着防止用に傾斜板またはモルタル仕上げを行ったか。
- 点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされているか。
- 清掃は完了したか。

施工チェックシート

| |
|---|
| 共通仕様書(下水道施設機械編) 第 6 章 沈砂池設備工事 第4節 揚砂機設備 |
|---|

| | |
|-------|----------|
| 点検実施日 | 平成 年 月 日 |
| 点検者名 | 印 |
| 施工場所 | |

機 器 名 称 : 噴射式揚砂装置(揚砂機)

1. 本体

- アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- モルタルの仕上げ状態は良いか。
- 取付ボルトの増締めは完了したか。
- ボルトの突き出し長さは適切か。(2~3山程度)(切断面の処置はしたか)
- 掘削ノズル取付角度は良いか。

2. その他

- 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- 清掃は完了したか。

施工チェックシート

共通仕様書(下水道施設機械編)

第 6 章 沈砂池設備工事

第4節 揚砂機設備

| | |
|-------|----------|
| 点検実施日 | 平成 年 月 日 |
| 点検者名 | 印 |
| 施工場所 | |

機 器 名 称 : 噴射式揚砂装置(集砂装置)

1. 本体

- アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ボルトの突き出し長さは適切か。(2~3山程度)(切断面の処置はしたか)
- 集砂ノズル取付角度は良いか。

2. その他

- 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- 清掃は完了したか。

施工チェックシート

| |
|-----------------|
| 共通仕様書(下水道施設機械編) |
| 第 6 章 沈砂池設備工事 |
| 第4節 揚砂機設備 |

| | |
|-------|----------|
| 点検実施日 | 平成 年 月 日 |
| 点検者名 | 印 |
| 施工場所 | |

機 器 名 称 : 噴射式揚砂機用 沈砂分離機

1. 駆動装置

- 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- 減速機油面計は見やすい位置にあるか。
- 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- 減速機の給油量は適量か。
- 回転方向は確認したか。
- 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- 駆動チェーンの緊張度を正しく調整したか。
- チェーンにグリースを塗布したか。
- 集中給油装置のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
- 給油ポンプには行き先を表示したか。
- グリースガンの場合グリースニップルは作業しやすい所に配置したか。
- アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ボルトの突き出し長さは適切か。(2~3山程度)(切断面の処置はしたか)

3. 塗装

- 水上部は指定色が塗布されているか。
- 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- 施工管理記録は作成したか。
- 点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされているか。
- 清掃は完了したか。

施工チェックシート

| |
|-----------------|
| 共通仕様書(下水道施設機械編) |
| 第 6 章 沈砂池設備工事 |
| 第4節 揚砂機設備 |

| | |
|-------|----------|
| 点検実施日 | 平成 年 月 日 |
| 点検者名 | 印 |
| 施工場所 | |

機 器 名 称 : 噴射式揚砂装置 加圧ポンプ(陸上ポンプ)

1. 駆動装置

- 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- 回転方向は確認したか。
- 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- 各ドレン配管(ケーシングドレン等)は側溝まで配管したか。
- アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ボルトの突き出し長さは適切か。(2~3山程度)(切断面の処置はしたか)

3. 塗装

- 水上部は指定色が塗布されているか。
- 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

| |
|-----------------|
| 共通仕様書(下水道施設機械編) |
| 第 6 章 沈砂池設備工事 |
| 第4節 揚砂機設備 |

| | | | | |
|-------|----|---|---|---|
| 点検実施日 | 平成 | 年 | 月 | 日 |
| 点検者名 | | | | |
| 施工場所 | | | | |

機 器 名 称 : 噴射式揚砂装置 加圧ポンプ(水中ポンプ)

1. 駆動装置

- 回転方向は確認したか。
- 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- 吊り上げ用チェーン及び動力ケーブルの掛け金具(SUS304)を取り付けたか。
- ケーブルの張りは適正か。
- 余長ケーブルは切断又は強固に結束固定してあるか。
- 端子箱の高さは適正か。(原則として床上1.2m以上)
- 端子箱または壁面等にポンプの銘板を取り付けているか。
- アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- ボルトの突き出し長さは適切か。(2~3山程度)(切断面の処置はしたか)

3. その他

- 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- 清掃は完了したか。

施工チェックシート

| |
|-----------------|
| 共通仕様書(下水道施設機械編) |
| 第 6 章 沈砂池設備工事 |
| 第4節 揚砂機設備 |

| | |
|-------|----------|
| 点検実施日 | 平成 年 月 日 |
| 点検者名 | 印 |
| 施工場所 | |

機 器 名 称 : 噴射式揚砂装置 加圧水タンク(鋼板製)

1. 本体

- 液面計は見やすい位置にあるか。
- ドレン配管は側溝まで配管したか。
- アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- モルタルの仕上状態は良いか。
- ボルトの突き出し長さは適切か。(2~3山程度)(切断面の処置はしたか)

2. 塗装

- 水上部は指定色が塗布されているか。
- 機器名称は見やすい位置に書いたか。

3. その他

- 施工管理記録は作成したか。
- 清掃は完了したか。

施工チェックシート

| |
|---|
| 共通仕様書(下水道施設機械編) 第 6 章 沈砂池設備工事 第4節 揚砂機設備 |
|---|

| | |
|-------|----------|
| 点検実施日 | 平成 年 月 日 |
| 点検者名 | 印 |
| 施工場所 | |

機 器 名 称 : 噴射式揚砂装置 加圧水タンク(パネルタンク)

1. 本体

- 液面計は見やすい位置にあるか。
- ドレン配管は側溝まで配管したか。
- タンクと配管との接続部には可とう管がついているか、また適切なサポートがあるか。
- アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- モルタルの仕上状態は良いか。
- ボルトの突き出し長さは適切か。(2~3山程度)(切断面の処置はしたか)

2. 塗装

- 機器名称及びタンク容量は見やすい位置に書いたか。

3. その他

- 施工管理記録は作成したか。
- 清掃は完了したか。

施工チェックシート

| |
|-----------------|
| 共通仕様書(下水道施設機械編) |
| 第 6 章 沈砂池設備工事 |
| 第4節 揚砂機設備 |

| | |
|-------|----------|
| 点検実施日 | 平成 年 月 日 |
| 点検者名 | 印 |
| 施工場所 | |

機 器 名 称 : スクリュー式沈砂かき寄せ機

1. 駆動装置

- 端子箱の位置、寸法及び向きはケーブル接続に支障ないか。電気設備と調整したか。
- 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- 減速機油面計は見やすい位置にあるか。
- 減速機の排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- 減速機の排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- 減速機の給油量は適量か。
- 回転方向は確認したか。
- 運転を行い駆動部から異常音がないか。
- セットボルトの緩み防止措置(スプリングワッシャー等)は考慮されているか。

2. 本体

- 軸継ぎ手のボルトは確実に締結したか。
- スクリューの接続部は、確実に接続したか。
- 水中ギヤボックスへのシール水配管は、シール水タンクから水中ギヤボックスまで、確実に接続されているか。
- 水中ギヤボックスへの注水量の調整を行ったか。
- シール水配管はユニオンを用いて分解できるような位置で施工しているか。
- アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ボルトの突き出し長さは適切か。(2~3山程度)(切断面の処置はしたか)
- 電気設備と現場操作盤の設置位置の調整を行ったか。
- 現場操作盤を機械設備の架台上に設置する場合、電気設備から盤の外形図・重量・重心位置等の資料提示を受け、機械設備の架台上で転倒防止の補強を行ったか。
- 二次側配線工事において、周辺の機器及び配管の干渉、維持管理等を検討したか。
- 過負荷防止用過電流検出器の設定電流について電気設備と調整したか。

3. 塗装

- 水上部は指定色が塗布されているか。
- 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- 施工管理記録は作成したか。
- 既設物損傷箇所(モルタル欠損、手すりの損傷等)の復旧は行ったか。
- 池底コンクリートにはく離はないか。
- 池底コンクリート打設後、コンクリートの急激な乾燥を避ける措置を行ったか。
- 本体、床、水路、駆動部等の清掃は完了したか。